

大腸がん尿路浸潤症例の検討

1. 研究の対象

1997年1月1日から2015年12月20日までに国立がん研究センター東病院大腸外科と泌尿器・後腹膜腫瘍科で大腸がん摘出に加えて尿路の同時切除手術を行った方々を対象とします。

2. 研究の概要

対象とする方々のがんがどの程度治っているか、手術合併症が増えたり、術後の生活の質の低下が著しくなっていないかを調べます。

3. 研究の意義と目的

大腸がんと尿路を同時に切除した方々の治療成績は現在まであまり多くは報告されていません。私たちの施設はこの手術の経験が豊富なため、より質の高い研究ができ、その成果が今後同様の治療が必要な方の指標になったり、新たな治療を試みる場合の土台になることを期待できます。

4. 方法

1997年1月1日から2015年12月20日までに国立がん研究センター東病院大腸外科と泌尿器・後腹膜腫瘍科で大腸がん摘出に加えて尿路の同時切除手術を行った方々を対象にして診療録を見直し、がんの性質、治り具合や手術に関する項目を幅広く調べます。それによって、がんの予後に関する重要な事項や合併症を防ぐために必要な事項を調べます。

5. 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録等には個人情報が含まれ、研究結果は関連学会でまたは論文として公表します。しかし公表の際に研究対象者の氏名、個人が特定されるような情報等を公表することはありません。また患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますのでいつでも下記まで申し出てください。

研究責任者

国立がん研究センター東病院 大腸外科 伊藤雅昭

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 酒井康之

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724